



美濃加茂記者クラブ、可児記者クラブ同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



| 令和6年2月8日(木) 岐阜県発表資料 | | | |
|---------------------|--------------|-------|--|
| 担当課 | 担当係 | 担当者 | 電話番号 |
| 農政課スマート農業推進室 | スマート農業推進係 | 上野・石田 | 内線 4024 直通 058-272-1562 FAX 058-278-2680 |
| 可茂農林事務所 | 農業普及課地域支援第二係 | 稲葉・各務 | 内線 253 代表 0574-25-3111 FAX 0574-28-5301 |

中山間地域におけるスマート農業実演会を開催します

県ではスマート農業を推進するため、農業者、農機メーカー等、関係機関とコンソーシアムを構築し、中山間地域である御嵩町内の生産現場において、スマート農機の活用による低コストな農業経営の実証^{*1}に取り組んでいます。

このたび、本実証成果の発表と中山間地域で活用可能なスマート農機を紹介する実演会を下記のとおり開催します。

記

- 日 時** 令和6年2月15日(木) 13:30~16:00
天候、ほ場の状態により中止する場合があります
- 場 所** 御嵩町防災コミュニティセンター及び周辺ほ場
(可児郡御嵩町中切 1437-1)
集合場所：御嵩町防災コミュニティセンター 2階 大会議室
- 主 催 者** ほ場条件不利地域におけるスマート農機低コスト利用実証コンソーシアム^{*2}
- 参加予定者** 40名(農業者、関係団体、行政機関等。募集は終了しています。)
- 内 容**
 - スマート農機の活用による低コストな農業経営の実証結果
 - 直進キープ田植機、食味収量コンバイン、自動操舵機能付き乗用管理機の機能紹介
 - センシングドローンの撮影画像解析とその活用方法
 - センシングドローンの操作方法【実演】
 - 自動操舵システムを後付けしたトラクタによる耕起作業【実演】
- そ の 他** 取材を希望される場合は、2月14日(水)までに、上記、農政課スマート農業推進室または可茂農林事務所担当者までご連絡願います。

7 地 図



※1 国の「スマート農業実証プロジェクト」により実施。令和元年度から令和5年度まで、全国217地区において実証を行っている。

※2 (株)アオキ、(農)ふしみ営農、田中農機(株)、(農)みざの、めぐみの農業協同組合、(株)東海近畿クボタ、(一社)岐阜県農業会議、御嵩町、県の9組織で構成

参考：紹介するスマート農業機器

○直進キープ田植機

衛星からの情報を活用することでまっすぐに走行可能な田植機。

○食味収量コンバイン

収穫と同時に収量・食味(タンパク質の量)・水分量等を測定し、ほ場ごとの収量や食味等のばらつきを把握可能なコンバイン。得られたデータにより、翌年の適正な施肥量を検討できる。

○自動操舵システム

衛星からの情報を活用することでハンドルを自動制御し、設定された経路を自動走行するシステム。地上に設置する基地局からの補正情報を用いることで、誤差数センチの精度で走行ができる。トラクタ、田植機、コンバイン等に後付けすることが可能。

○センシングドローン

上空からマルチスペクトルカメラにより作物を撮影することで、広範囲の生育状況を短時間で把握可能なドローン。得られたデータにより、局所的な施肥や防除を行い、資材費の低減や省力化を図ることができる。